

# 群弓連だより

第86号

平成21年1月31日

群馬県弓道連盟

発行人 須田 定雄

## 平成21年年頭のご挨拶

会長 須田 定雄

会員の皆様新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり20年末までの経過と今後の目標を申し上げご挨拶いたします。昨年の年頭に挙げた競技運営のシステム化、支部への書類のメール化、各担当部会長のコンピューター処理化等何れも事務処理の軽減、迅速化と共に役員交代時の引継ぎの手数を出来る限りスムーズに行われる様に、理事会、評議員の承認を頂き財政調整基金の一部を使用させて頂き進めることが出来ました。行事内容の中で特筆すべきは、日体協における公認指導者の講習には専門科目の5回の40時間についてはC級コーチ資格を持っている県外の一流講師により行われ、98名が受講しました。この講習に関しては、鈴木副会長、岩本副理事長によって会場の設営、具体協との折衝を含め、資料作り、各講師との打ち合せ等大変なご苦勞のうえに成り立った行事であったことを書き添え、21年度には上の資格である上級指導者講習を行う予定で行事予定表に日程をくみました。

審査については、審査規程に基づき審査委員の統一した審査眼による審査の自覚をもった審査を行って頂くべく進めてきましたが、この問題は群弓連だけではなくどの県においても問題があるところであり、現在全日本弓道連盟においても全国の調査を行っているところです。県連では出来る限り正しい審査が行える様に今後も進めていく所存であります。

称号部会では20年度に錬士会、教士会を立ち上げて頂きました。称号者はそれぞれのレベルで学ぶべきものがありその学ぶべき内容が審査を受審



するうえで大切な要素となると考えます。したがって自分達が何をやるべきかが問題であり、自主的に講習会やその対応を其々の会で自覚を持って考えて企画してもらいます。

諸々の改革をするべきところがありますが帰るところ会員の皆さんが何を望まれるか、それぞれのレベルによって望むところは異なることと思いますが、称号者が率先垂範して自覚と責任をもって頂くことによって群弓連全体のレベルの向上や審査における合格率も上がるであろうと考えます。これまでの会員皆様のご協力に深甚の感謝を申し上げますと共に今後も微々ではありますが意識改革を諮り、22年の関東国体予選開催も視野におき、会員皆さんと共に群弓連発展のために努力致しますので何とぞご協力ご支援を心よりお願いを申し上げます。年頭のご挨拶いたします。



# 大会記録

## 県内大会

◇第46回 群馬県民体育大会秋季大会

11月9日

☆市の部☆

会場 ぐんま武道館弓道場

矢渡し 射手 須田定雄範士八段 第一介添 女屋厚子教士六段 第二介添 早部光代錬士六段

○ 大会結果



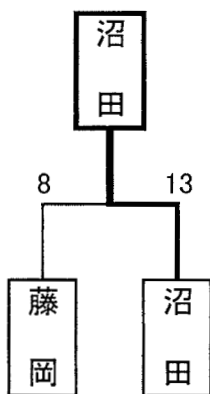
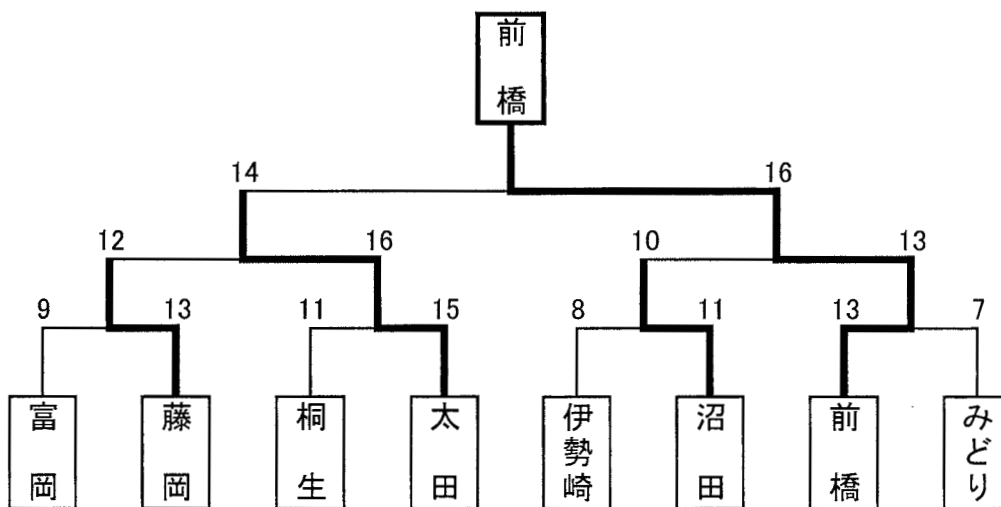
優勝 前橋市  
監督 勅使川原  
選手 山崎・鶴川・荒木  
名雪・高橋



準優勝 太田市  
監督 柏瀬  
選手 赤木・中村・藤林  
金山・東山



第三位 沼田市  
監督 加藤  
選手 藤井・堀井・小林  
富岡・金井



順位	優勝	前橋
	準優勝	太田
	第三位	沼田
	第四位	藤岡
	第五位	桐生
	第六位	富岡
	第七位	伊勢崎
	第八位	みどり
	第九位	安中
	第十位	洪川
	第十一位	高崎
	第十二位	館林

☆ 郡の部 ☆

会場 高崎市弓道場

矢渡し 射手 鈴木康弘教士七段 第一介添 吉田巖錬士五段 第二介添 大工原和子五段  
○大会結果



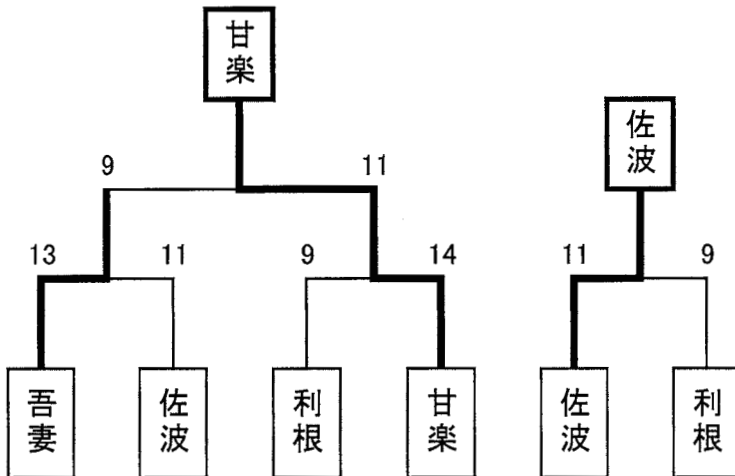
優勝 甘楽郡  
監督 山田  
選手 山口・三木・古川  
松井・葛西



準優勝 吾妻郡  
監督 小池  
選手 渡辺・篠原・本所  
丸山・山本



第三位 佐波郡  
監督 原田(兼)  
選手 小幡・清水・坂本  
羽鳥・原田



順位	
優勝	甘 楽
準優勝	吾 妻
第3位	佐 波
第4位	利 根
第5位	勢 多
第6位	北群馬
第7位	邑 楽
第8位	多 野



◇女子部後期大会

11月16日 ぐんま武道館弓道場

矢渡し 射手 戸森恵美子教士七段 第一介添 櫻井節子錬士六段 第二介添 眞下眞弓錬士六段  
参加人数 総数91名 三段以下42名 四・五段26名 称号23名 10射

☆ 三段以下の部

1位	伊藤 純子	高崎	6中
2位	立木 里奈	前橋	5中
3位	泉 加代子	高崎	5中
4位	南雲 ナヲ	赤城	5中
5位	児島 雪江	前橋	4中

☆ 四・五段の部

1位	澁谷 たかの	利根沼田	8中
2位	横堀 智美	伊勢崎	7中
3位	笠原 郁子	前橋	6中
4位	前原 清美	桐生	6中
5位	吉澤 宣江	甘楽	6中

☆ 称号の部

1位	青木	敏子	北群馬	7中
2位	女屋	厚子	前橋	7中
3位	眞下	眞弓	伊勢崎	7中
4位	中嶋	玲子	伊勢崎	6中
5位	宮永	典子	太田	6中

☆ 総合

1位	澁谷	たかの	利根沼田	8中
2位	青木	敏子	北群馬	7中
3位	女屋	厚子	前橋	7中



◇県連納射会

12月7日 ぐんま武道館弓道場

矢渡し 射手 須田定雄範士八段 第一介添 眞下眞弓錬士六段 第二介添 新木源助錬士五段

参加人数 総数144名 称号56名 四・五段43名 参段以下45名 8射

○大会結果

☆ 参段以下の部 ☆			
1	石川 邦男	みどり	7中
2	岩崎 麻衣	北 橋	6中
3	龍 譲	はるな	6中
4	中西 洋二	前 橋	5中
5	森田海由紀	太 田	4中
6	赤石 清志	境	4中
7	福田 昭二	前 橋	4中
8	富沢美和恵	はるな	4中
9	松永 洋一	高 崎	4中
10	小林 大介	北 橋	4中

☆ 四・五段の部 ☆			
1	大谷 幸雄	渋 川	6中
2	堀越 勉	桐 生	6中
3	金古 隆栄	高 崎	6中
4	六本木 保	前 橋	6中
5	和泉 亮	前 橋	6中
6	高橋久美子	藤 岡	6中
7	金澤 秀二	藤 岡	5中
8	武井 雄一	あずま	5中
9	雨宮 巧	太 田	5中
10	黒崎 与敬	伊勢崎	5中

☆ 称号の部 ☆			
1	森 崇宣	前 橋	7中
2	鈴木 康弘	高 崎	6中
3	田中 義裕	富 岡	6中
4	眞下 眞弓	伊勢崎	6中
5	鶴川 祐一	前 橋	5中
6	原澤 浩之	富 岡	5中
7	女屋 栄一	前 橋	5中
8	青木 敏子	北群馬	5中
9	青木 五夫	高 崎	5中
10	大谷 忠義	伊勢崎	5中



◇県連初射会

1月11日 ぐんま武道館弓道場

矢渡し 射手 鈴木康弘教士七段 第一介添 塚本京子教士六段 第二介添 岩本ふさ子錬士六段

参加人数 総数159名 称号64名 四・五段55名 参段以下40名

○大会結果

☆ 参段以下の部 ☆			
1	清水 廣輝	安 中	
2	龍 穰	はるな	
3	福田 敦子	伊勢崎	
4	野澤 美香	太 田	
5	齋藤 久	邑楽館林	
6	村井 大輔	太 田	
7	福田 昭二	前 橋	
8	原 きく子	吾 妻	
9	松永 洋一	高 崎	
10	長沼 正範	太 田	

☆ 四・五段の部 ☆		
1	園田 賢二	みどり
2	井口 学	伊勢崎
3	神保 雅史	吾 妻
4	高橋久美子	藤 岡
5	藤井 宏一	利根沼田
6	六本木 保	前 橋
7	大谷 幸雄	渋 川
8	那須 義正	太 田
9	小淵 弘之	吾 妻
10	広橋美佐子	渋 川

☆ 称号の部 ☆		
1	田中 義裕	富 岡
2	眞下 眞弓	伊勢崎
3	上野 信勝	新 里
4	今井 誠一	はるな
5	天笠 泰男	太 田
6	中村 民雄	太 田
7	青木 五夫	高 崎
8	女屋 栄一	前 橋
9	金井 義則	安 中
10	小林 宏治	利根沼田



◇第24回県民スポーツ祭ぐんまねんりんピック2008弓道大会

10月23日 ぐんま武道館弓道場 参加人数134名 8射

過日行われました大会の上位入賞者です。詳しい大会結果については「群弓連だより85号」記載されています。



69歳以下の部  
高瀬隆男・吉田巖選手



70歳以上の部  
八木啓次・小坂橋朝夫選手



女性の部  
南雲ナヲ・湯本周子選手

県外大会

◆全日本実業団弓道選手権大会 10月18～19日 明治神宮（第一、第二道場）

参加チーム：東京電力、富士重工、三洋電機（3社）

■近的競技（団体戦）

・東京電力 Aチーム 決勝トーナメント決勝進出（準優勝）83点 ・産業別対抗（第9位～敢闘賞）113点

- [メンバー：六本木保、以下他県メンバーのため割愛]
- ・東京電力 Bチーム 決勝トーナメント準決勝進出 (BEST 12)  
[メンバー：柴崎裕一、以下他県メンバーのため割愛]
  - ・富士重工 Bチーム 決勝トーナメント決勝進出 (第6位入賞)  
[メンバー：中谷 大、山本拓哉、前野嘉裕、藤林路浩、武田節夫]
  - ・三洋電機 Bチーム 産業別対抗 (第8位～敢闘賞) 116点  
[メンバー：東山武美、亀井 猛、松添創一、塚本京子、赤木成実]

■近の競技 (個人戦)

富士重工 女子 島村依里 22点 (第3位入賞)

▲遠の競技 (団体戦)

φ三洋電機 Aチーム 44点 (第4位入賞) [メンバー：赤木成実、東山武美、塚本京子]

φ三洋電機 Dチーム 41点 (第6位入賞) [メンバー：柏原健治、柴田清司、中村民雄]

▲遠の競技 (個人戦)

・東京電力 男子 六本木保 22点 (第4位入賞) ・三洋電機 女子 塚本京子 20点 (第4位入賞)

## 高体連大会

◆ 地区大会成績

10月4日 各自8射

★中毛地区 ぐんま武道館弓道場 (男38・女32チーム、個人 男98・女42名)

男子団体

順位	学校・チーム	選手名 (学年)	成績
優勝	前 工A	石原拓真 (2), 阿久津敬則 (2), 城田裕貴 (2)	20
準優勝	前 商C	藤井郁彰 (2), 細野智文 (2), 嶋村晃丞 (2)	19
3位	玉 村A	小幡和也 (2), 上原善光 (2), 神保周平 (1)	18

女子団体

順位	学校・チーム	選手名 (学年)	成績
優勝	前 南A	小林亜里沙 (2), 秋山理沙 (2), 富澤りか (2)	23
準優勝	清 明B	長谷川あずさ (2), 伊藤綾香 (2), 板垣彩華 (2)	22
3位	前 女A	木村美沙紀 (2), 上条 栞 (2), 石北悦子 (2)	19

男子個人

順位	学校・学年	選手名	成績
優勝	前 商1	坂西 利康	7
準優勝	前 商2	細野 智文	6
3位	前 商2	藤井 郁彰	6
4位	玉 村1	神保 周平	6
5位	前 工2	石原 拓真	6

女子個人

順位	学校・学年	選手名	成績
優勝	清 明2	伊藤 綾香	8
準優勝	前 東1	曾山 真里江	7
3位	前 女2	木村美沙紀	6
4位	共 愛2	藤井 絹佳	6
5位	清 明2	松原 有希	6

★東毛地区 太田市武道館弓道場 (男20・女14チーム、個人 男29・女15名)

男子団体

順位	学校・チーム	選手名 (学年)	成績
優勝	太 田A	後閑一人 (2), 鴫崎正明 (2), 荻原佑太 (2)	23
準優勝	太 田C	石関真弥 (2), 村田侑司 (2), 山根弘之 (2)	20
3位	樹 徳B	山本修斗 (1), 新井 敦 (1), 上道正裕 (2)	29

女子団体

順位	学校・チーム	選手名 (学年)	成績
優勝	太女A	宮下郁恵 (2), 星野杏奈 (2), 加藤育巳 (2)	16
準優勝	太女C	新井あすか (2), 竹澤花奈 (1), 長屋美穂 (1)	15
3位	桐商C	青木愛花 (2), 鎌田瑤子 (1), 飯塚千尋 (1)	11

男子個人

順位	学校・学年	選手名	成績
優勝	太田2	鴫崎 正明	7
準優勝	太田2	石関 真弥	6
3位	太田2	山根 弘之	6
4位	桐商2	鷹野 和也	6
5位	樹徳1	山本 修斗	6

女子個人

順位	学校・学年	選手名	成績
優勝	桐生2	鈴木 舞	4
準優勝	太女2	新井あすか	4
3位	太商1	星 春菜	4
4位	太女2	飯田 千春	4
5位	太女2	星野 杏奈	4

★北毛地区 渋川市武道館弓道場 (男16・女18チーム、個人 男33・女37名)

男子団体

順位	学校・チーム	選手名 (学年)	成績
優勝	利商B	小野塚敦紀 (2), 栗原俊也 (1), 齋藤 良 (2)	26
準優勝	渋工A	綿貫慎也 (2), 齋藤俊介 (2), 田中優樹 (2)	20
3位	利根実A	平方 享 (2), 須田智稀 (2), 星野文繁 (2)	19

女子団体

順位	学校・チーム	選手名 (学年)	成績
優勝	吾妻A	荒木智子 (2), 佐藤裕香 (2), 渡辺美緒 (2)	18
準優勝	中之城A	本間愛美 (2), 高橋麻里 (1), 黒岩ひかる (2)	17
3位	渋女B	川原田咲雪 (2), 田村友里 (2), 小野茉奈佳 (2)	16

男子個人

順位	学校・学年	選手名	成績
優勝	利商1	栗原 俊也	7
準優勝	利商2	小野塚敦紀	6
3位	青翠1	若林 隆太	6
4位	青翠2	倉田 直人	6
5位	渋工2	綿貫 慎也	6

女子個人

順位	学校・学年	選手名	成績
優勝	渋工2	阿部 春乃	6
準優勝	中之条1	高橋 麻里	5
3位	中之条2	関 桃子	5
4位	吾妻1	富澤 ちさと	4
5位	青翠1	青木 麻里	4

★西毛地区 高崎市弓道場 (男19・女16チーム、個人 男79・女52名) 2チームエントリー

男子団体

順位	学校・チーム	選手名 (学年)	成績
優勝	県央A	内田恭平 (2), 河合弘樹 (1), 伊藤尚人 (2)	22
準優勝	高北B	大矢一希 (1), 小林有理 (1), 時澤敢多 (1)	19
3位	高崎A	福田創規 (2), 松浦悠司 (2), 戸塚健介 (2)	16

女子団体

順位	学校・チーム	選手名 (学年)	成績
優勝	高北A	北村春夏 (2), 小坂橋稚菜 (2), 小林 茜 (2)	18
準優勝	高経附A	須賀渚沙 (2), 岩川美咲 (1), 大森麻由美 (2)	14
3位	県央A	石原栄利 (2), 北原加奈恵 (1), 清水早紀 (2)	13

男子個人

順位	学校・学年	選手名	成績
優勝	高北1	時澤 敢多	7
準優勝	県央2	伊藤 尚人	6
3位	高経附2	番場 洋平	6
4位	高崎2	松浦 悠司	6
5位	富岡2	神保 優	6

女子個人

順位	学校・学年	選手名	成績
優勝	高北2	小板橋 稚菜	7
準優勝	高北2	小林 茜	6
3位	県央2	石原 栄利	6
4位	吉井2	横尾 奈々	6
5位	高女2	高橋 奏	5

◆第8回東日本高等学校弓道大会県予選会

10月25日

(男子) 前橋市民体育館弓道場

(女子) ぐんま武道館弓道場

(男子) 団体戦 39校 74チーム (女子) 団体戦 36校 63チーム

◎団体戦

(男子) 1位 清 明 A (細谷翔平・石川和輝・長谷川郁・関野一弘)

2位 前 商 B (藤井郁彰・細野智文・嶋村晃丞・梅澤直樹)

3位 富 岡 B (矢嶋貴宣・田村 智・西平 尚・富田智成)

(女子) 1位 前市高 A (千木良咲季・堀川早紀・為谷友香・山崎未来)

2位 中之条 A (唐澤愛里・関 桃子・本田 文・石井里奈)

3位 吾 妻 B (豊田 麗・山崎聡美・丸山知香・橋本美穂)

◎個人戦 (同中は1位のみ射詰競射, 他は遠近競射)

男子			
1位	石川 和輝	清 明 2	8中
2位	倉田 直人	青 翠 2	7中
3位	大谷 哲史	前 橋 2	7中
4位	小見 和人	前市高 2	7中
5位	長 嶋 翔	前 南 2	7中

女子				
1位	唐澤 愛里	中之条 1	7中	○
2位	中島 友紀	前 東 2	7中	×
3位	阿部 春乃	渋 工 2	6中	
4位	上条 葉	前 女 2	6中	
5位	小野 茉奈佳	渋 女 2	6中	

※団体戦における上位2校は、12月24～26日に神奈川県横須賀アリーナ特設弓道場で開催される第8回東日本高等学校弓道大会に出場する。

◆県高等学校弓道新人大会 (兼) 第27回全国高校弓道大会県予選会

11月22日

(男子) ぐんま武道館弓道場前

(女子) 橋市民体育館弓道場

(男子) 団体戦 41校 76チーム 個人戦 269名 (女子) 団体戦 39校 68チーム 個人戦 235名

◎団体戦 (同中は競射により順位決定)

(男子)

1位 前 商 B (藤井郁彰 2年・細野智文 2年・嶋村晃丞 2年・船橋勇貴 2年) 34中

2位 青 翠 B (上村悠悟 2年・庄司良輔 2年・倉田直人 2年) 28中

3位 清 明 A (長谷川郁 2年・石川和輝 2年・関野一弘 2年・細谷翔平 2年) 27中

(女子)

1位 前 商 B (中野沙紀 2年・小野晴香 2年・狩野志歩 2年・石原里咲 2年) 37中

2位 前 女 A (木村美沙紀 2年・上条葉 2年・池田寛子 2年・富岡愛咲美 2年) 26中

3位 前市高 A (千木良咲季 2年・堀川早紀 2年・為谷友香 2年・関口知恵子 2年) 25中

◎個人戦 (同中は1位のみ射詰競射, 他は遠近競射)

男子				
1位	藤井 郁彰	前 商 2	7中	○○
2位	小見 和人	前市高 2	7中	○×
3位	竹内 孝友	太 商 1	7中	○×
4位	嶋村 晃丞	前 商 2	7中	×
5位	細野 智文	前 商 2	7中	

女子				
1位	千木良咲季	前市高 2	7中	○○○
2位	齋藤 舞	富 東 2	7中	○○×
3位	狩野 志歩	前 商 2	7中	×
4位	小板橋 稚菜	高 北 2	6中	
5位	板垣 彩華	清 明 2	6中	



※団体戦の優勝チーム、個人戦の1・2位は3月20日～22日に静岡県藤枝市県武道館で開催される第27回全国高校選抜弓道大会に出場する。

## 部 会 報 告

### ☆ 女子部部会 ☆

§§ 女子部講習会                      12月1日                      高崎市弓道場

本年度7回目となる女子部県外講師(小宮栄子範士八段)を、お迎えしての講習会を開催しました。参加者は県内五段以上31名の受講者でした。小宮先生におかれましてはご多忙の中ご来県いただき、射技研修を中心に講話を含めご指導いただきました。

講評では・錬士以上はまずまずではあるが、入場・歩行は息合いにあわせる

- ・襷さばきの再確認(弓と矢を組む手や指の向き、末弭等)
- ・行射を行う時に、和服の袖や袴の裾から防寒着は見えないように
- ・全体に向上していることが感じられるとの講評をいただきました。

講話では・講習会受講のマナー、指導者として、審査会および大会でのマナーについて講話をいただきました。

### ☆ 審査関係 ☆

第四次地方審査    11月30日      ぐんま武道館弓道場

※ 高校生・査定のみ      受審者125名(合格者・初段81名・一級44名)

学科問題

- |      |   |
|------|---|
| 午前の部 | 1. 弓道を始めて感じたことを述べなさい。<br>2. 弓道八節を列記し「足踏み」について述べなさい。 |
| 午後の部 | 1. 弓道を始めて感じたことを述べなさい。<br>2. 弓道八節を列記し「足踏み」について述べなさい。 |

## 支 部 だ よ り

### 安中支部

上原 とも恵

◆納射会・昇段祝射会                      12月23日                      松井田広瀬弓道場

相川六段の祝射一手、答礼射後競射四ツ矢3回(計14射)で実施      ハンデ制

①清水麻実 ②近藤清宏 ③清水廣輝 ④上原とも恵 ⑤金井義則 ⑥成田拓未  
金的 古尾谷 茂 金井杯(最高的中) 清水麻実 7中

### 太田支部

石川 忠弘

#### ◆月例結果

月日 (参加人数)	グループ	優勝	二位	三位
4月20日(日) (38名) 10射	三段以下	江黒 陽介 ⑧	前野 嘉裕 ⑥	藤林 路浩 ⑥
	四・五段	中村 民雄 ⑧	池田 孝之 ⑧	広瀬 孝子 ⑦
	称号者	富岡 武文 ⑧	佐藤 紘一 ⑤	岩本ふさ子 ④

5月18日(日) (39名) 10射	三段以下	梶川 雅史 ⑨	山本 拓哉 ③	遠藤 亨 ③
	四・五段	雨宮 巧 ⑥	中村 民雄 ⑥	増田 浩子 ⑥
	称号者	塚本 京子 ⑦	東山 武美 ⑦	鬼塚 亨 ⑦
6月8日(日) (27名) 10射	三段以下	山本 拓哉 ⑥	長沼 正範 ⑤	森田 崇嗣 ④
	四・五段	中村 民雄 ⑧	雨宮 巧 ⑦	中平 正彦 ⑥
	称号者	梶原 充吾 ⑧	天笠 泰男 ⑦	富岡 武文 ⑥
7月13日(日) (26名) 10射	三段以下	渡辺 純 ⑥	長沼 正範 ⑤	稲村 由美 ④
	四・五段	中村 民雄 ⑨	中平 正彦 ⑥	清水 忠一 ⑤
	称号者	塚本 京子 ⑥	柏瀬さち子 ⑥	遠藤 久雄 ⑤
8月24日(日) (30名) 10射	三段以下	遠藤 亨 ⑦	長島 寿実 ⑥	野澤 美香 ⑤
	四・五段	中村 民雄 ⑦	中平 正彦 ⑥	亀井 猛 ⑥
	称号者	赤木 成実 ⑨	梶原 充吾 ⑦	東山 武美 ⑦
9月14日(日) (28名) 10射	三段以下	野澤 美香 ⑦	金井 友美 ⑥	梶川 雅史 ④
	四・五段	中平 正彦 ⑦	佐藤 識夫 ⑦	横田 俊春 ③
	称号者	中村 民雄 ⑧	富岡 武文 ⑤	遠藤 久雄 ⑤
10月12日(日) (35名) 10射	三段以下	金澤 希 ⑧	周藤 武 ⑤	藤林 路浩 ④
	四・五段	小俣 充 ⑧	雨宮 巧 ⑥	井出 直子 ⑥
	称号者	赤木 成実 ⑨	中村 民雄 ⑧	佐藤 紘一 ⑥
11月16日(日) (36名) 10射	三段以下	藤林 路浩 ⑧	野澤 美香 ⑦	中尾 大樹 ⑤
	四・五段	佐藤 識夫 ⑦	中平 正彦 ⑦	清水 忠一 ⑦
	称号者	赤木 成実 ⑨	梶原 充吾 ⑨	岩本 敬一 ⑦
12月21日(日) (48名) 10射	三段以下	伊藤 壮 ⑧	藤林 路浩 ⑥	森田海由紀 ⑤
	四・五段	小俣 充 ⑧	雨宮 巧 ⑧	中平 正彦 ⑦
	称号者	中村 民雄 ⑨	佐藤 紘一 ⑧	長谷川幸浩 ⑥

◆第二回ジュニア弓道教室 期間 11/22～12/13(各2時間で四日間)

対象者 小学校5年生～中学生

参加者 7名(小五男子:4名、小六男子:1名、小六女子:2名)

実施内容 拝礼、射法八節、紐弓、ゴム弓、

的前射 外に出て半分くらいの距離から軍手で射

\*教室終了後の弓道継続者は6人で前回継続者5人(中一3人、小六、2人)と合わせて11人となる。継続の場合は、弾をつけて巻き藁から指導し、徐々に的前へと進んでいく

◆108射会 12月23日 参加者 15人

成績;優勝:雨宮(71中)、準優勝:藤林(68中)、三位:小俣(63中)

桐生支部

神戸 信吉 ・ 関口 福一郎

◆11月例射会 11月23日 桐生市弓道場 参加者47名(高校生25名)

矢渡し 射手 河島勇吉支部長 第一介添 肥塚正雄錬士五段 第二介添 諏訪百合子錬士五段  
10射競技の総合優勝は9中の見事な成績で肥塚正雄選手が手にした。射詰め競技では決勝ラウンド3回戦で久保悦朗選手が優勝を決めた。

○10射競技 総合優勝 肥塚 正雄

参段以下				四・五段		称号者	
順位	氏名		的中	氏名	的中	氏名	的中
1位	丹羽 義一		6	関口 福一郎	7	肥塚 正雄	9
2位	提橋 勇太	桐高	6	中島 亨	7	小又 秀雄	7
3位	船越 大翔	桐高	6	久保 悦朗	7	中里 孝一	5
4位	荒木 崇文	桐高	5	小林 とし子	3	鹿木 良満	5
5位	茂木 伶奈		4			河島 勇吉	3

○射詰の部 ①久保 悦朗 ②狩野 雅也 ③丹羽 義一

◆12月例会 12月21日 桐生市弓道場 参加者30名

本年度六段に昇段された青柳純江先生の昇段祝射会を兼ねておこなわれました。

矢渡し 射手 小屋美ち子副支部長 第一介添 中島亨五段 第二介添 田口武司五段

10射競技では桐生支部の最高齢者である中里孝一先生(教士七段)が並居る若手強豪を抑えて9中という見事な成績で堂々の総合優勝を飾った。

射詰競技においては予選2射で1中以上が決勝進出し、決勝4本目を終え4名(久保五段・中島五段・小屋錬士六段・中里教士七段)がひしめく稀に見る熱戦を展開し5本目から八寸的に変更し6本目に久保選手が的中し優勝した。久保選手は予選から8中連続の的中であった。

中里教士は83才という高齢にも拘わらず10射競技優勝、射詰競技準優勝という素晴らしい活躍で青柳錬士六段の祝射会に花を添えた。

表彰式において中里選手が「弓道は年齢との戦いと思っており、今回は実力ではなく、まぐれでした。」と謙虚に語られた姿に一同感激を新たに例会は終了した。

○10射競技 ★総合優勝 中里 孝一 9中

参段以下			四・五段		称号者	
順位	氏名	的中	氏名	的中	氏名	的中
1位	船戸 敏夫	6	中島 亨	8	中里 孝一	9
2位	片倉 義行	5	堀越 勉	7	鹿木 良満	8
3位	丹羽 義一	5	久保 悦朗	6	小屋美ち子	6
4位	堀越 富美男	3	小林 とし子	5	青柳 純江	6
5位	坂井 勇介	2			渋谷 進	6
6位	涌井 邦夫	2			小林 詔一	4

○射詰の部 ①久保 悦朗 ②中里 孝一 ③中島 亨

◆1月例会 1月18日 桐生市弓道場 参加者33名(高校生1名)

○三部制 10射 ★総合優勝 坂井 勇介 8中

参段以下			四・五段		称号者	
順位	氏名	的中	氏名	的中	氏名	的中
1位	坂井 勇介	8	小林 とし子	7	小屋美ち子	8
2位	片倉 義行	7	中島 亨	6	中里 孝一	6
3位	久保田 充治	4	久保 悦朗	6	鹿木 良満	6
4位	新井 伸司	4	堀越 勉	5	山田 武広	6
5位	片倉 裕貴	4			青柳 護	6
6位	丹羽 義一	3			河島 勇吉	5
7位	木暮 雅美	3				

○射詰の部 ①鹿木 良満 ②小林 詔一 ③青柳 護

**境支部**

木村あい子

- ◆産業祭射会 11月9日 伊勢崎市境弓道場 参加者17名 10射  
 ①田村雅由8中 ②高井 翼8中 ③木村あい子7中 ④松井佐一6中⑤野上理恵子6中
- ◆納射会 12月21日 伊勢崎市境弓道場 参加者19名 10射  
 ①松井佐一8中 ②野上信敏7中 ③赤石知代6中 ④赤石清志6中 ⑤清水康弘6中

**佐波あずま支部**

吉田むつみ

- ◆創立15周年記念式典 11月2日 あずま弓道場

あずま弓道場の創立15周年記念式典並びに記念祝射会を開催致しました。

当日は晴天に恵まれご来賓であるあずま体育推進会長様及びあずま体育館長様のご祝辞を拝聴した後、矢渡し(射手 教士七段高橋静夫会長 第一介添 高橋瑞枝教士七段 第二介添 三塚宇善教士七段)と祝射(射手 範士八段大島善春先生 第一介添小屋美ち子錬士六段 第二介添櫻井節子錬士六段)を行いました。中毛地域の弓友の皆様方をはじめ佐波あずま弓道協会の会員など総勢102名のご参列を戴き15周年を祝うと共に親睦を深めることが出来ました。

尚、記念射会の入賞者は次のとおりです。 6射

順位	氏名	地区名	的中	順位	氏名	地区名	的中
優勝	武井 雄一	あずま	6中	6位	宮本 茂	前橋	4中
2位	赤石 清志	境	6中	7位	和泉 亮	前橋	4中
3位	川端 文夫	伊勢崎	5中	8位	谷澤 勝明	あずま	4中
4位	峯岸 孝司	あずま	5中	9位	田代 好伊	境	4中
5位	小屋 美ち子	桐生	4中	10位	赤石 知代	境	4中

- ◆10月例射会 10月18日 あずま弓道場 参加者33名 10射  
 ①佐山匠10中②三塚宇善8中③徳江友彬6中④吉田宗郷5中⑤雨宮巧5中

- ◆11月例射会 11月2日 あずま弓道場 参加者53名 6射  
 ①武井雄一6中②峯岸孝司5中③谷澤勝明4中④柳高浩3中⑤高橋静夫3中

- ◆納射会 12月14日 あずま弓道場 参加者36名 10射  
 ①武井雄一8中②内田桂輔7中③荒井崇堯6中④茂木定男6中⑤新井聖司5中  
 上位三名で納射をしましたが、第一介添、第二介添が高校生になり、初めての経験となりました。先生の指導を受けながらの介添、しどろもどろの動作と一生懸命さが、する人とする人を一体にさせとても勉強になりました。

- ◆108射会 12月31日 あずま弓道場  
 参加者25名 完射14名

- ◆元旦射会 1月1日 あずま弓道場 一手祝射  
 ※金的 天賞 小林 稔 地賞 雨宮 巧



**甘楽支部**

古川 康夫

10月5日には第二回町長杯弓道大会(10月例射会)が行われました。

又、11月には富岡・甘楽親善射会が行われ、12月例射会は納射会を兼ねての射会であり中身の濃い季節でありました。

10月例射会 10射			富岡甘楽親善射会 20射		11月例射会 10射		納射会兼12月例射会	
順位	氏名	的中	氏名	的中	氏名	的中	氏名	的中
1位	松井喜重郎	7	田中 義裕	16	山口 峰雄	8	斉藤 真弘	7
2位	田村 智	7	松井喜重郎	12	松井喜重郎	7	山口 峰雄	7
3位	山口 峰雄	6	原澤 浩之	12	葛西 恒	7	松井喜重郎	7

**渋川支部**

市橋 靖代

◆納射会 12月11日 渋川武道館弓道場 参加者27名 10射

三段以下 ①須田明美5中②奈良幸子4中③高橋浩3中④浦野美由紀2中⑤寺島敏子1中

四段以上 ①大谷幸雄9中②市橋靖代7中③青木トシ子7中④小林ミノル6中⑤木村敏男6中

◆108射会 12月23日 渋川武道館弓道場 参加者20名 54射

①宮川義雄32中②市橋靖代29中③大谷幸雄27中④小林ミノル25中⑤中島茂子24中  
⑥飯塚哲夫24中⑦岸正江22中⑧奈良幸子20中⑨武井美栄子20中⑩青木トシ子19中

**高崎支部**

桑原 豊

◆高崎市民弓道大会 11月30日 高崎市弓道場 参加者31名

	総合	三段以下	四五段	称号
優勝	静野 忠雄 7中	静野 忠雄 7中	高橋 瑛 7中	谷山 邦明 5中
準優勝	高橋 瑛 7中	小泉 雅裕 5中	坂下 純子 5中	近藤 清宏 3中
三位	小泉 雅裕 5中	新井ますみ 3中	藤原 英樹 5中	小坂橋朝夫 3中
四位		奥村 友昭 3中	荒瀬 由美 4中	
五位		遠藤千恵子 3中	金古 悦子 4中	

◆納射会 12月21日 高崎市弓道場 参加者27名

	総合	三段以下	四五段	称号
優勝	静野 忠雄 7中	静野 忠雄 7中	高橋 瑛 6中	青木 五夫 6中
準優勝	金古 隆栄 6中	長田 光司 6中	金古 隆栄 6中	谷山 邦明 6中
三位	高橋 瑛 6中	松永 洋一 6中	荒瀬 由美 4中	菊原 和子 4中
四位		大竹 初代 5中	女部田真由美 3中	
五位		川合 英夫 5中	小林 敏勝 3中	

**富岡支部**

田中 義裕

◆昇段昇格祝射会 12月14日 富岡市民弓道場 参加者24名

昇段昇格者：一級 新井彩華・雨宮智春・吉澤美智江 初段 小林政美・小野澤恵美子・今井誠治  
二段 大條憲史・市川洋二・茂木由美子・今井美枝子・飯塚千科夫・飯塚幸雄  
五段 大河原道雄

射会結果 ①熊澤優子8中②原澤浩之6中③田中義裕6中④齋藤清次6中⑤大條憲史4中

⑥黒澤正明4中⑦折茂一雄4中⑧茂木由美子3中⑨大河原道雄3中⑩小野澤恵美子3中

**榛名支部**

今井 誠一

**◆例射会** 20射

10月 (10/27)			11月 (11/28)			12月 (12/21)		
1位	廣神 芳夫	15中	1位	今井 誠一	16中	1位	廣神 芳夫	14中
2位	今井 誠一	14中	2位	龍 穰	12中	2位	今井 誠一	12中
3位	龍 穰	14中	3位	廣神 芳夫	10中	3位	龍 穰	10中
4位	富沢美和恵	11中	4位	清水萌恵子	8中	4位	佐藤真理子	7中
5位	塚越千春	8中	5位	富沢美和恵	8中	5位	小坂橋朝夫	7中
6位	提箸 清司	7中	6位	多胡 好美	7中	6位	富沢美和恵	7中

**◆108射会** 12月21日

午前の納射20射に、午後88射を引き、合計108射としました。

14名の参加者全員が完射出来ました。結果は次のとおりです。(50中以上)

廣神 芳夫	80中	今井 誠一	78中	龍 穰	54中
富沢美和恵	51中	小坂橋朝夫	50中		

**前橋支部****◆11例射会** 11月24日 前橋市民体育館弓道場

- ①六本木 保8中 ②森 崇宣7中 ③宮本 茂7中 ④高橋 香内6中 ⑤勅使川原 守6中  
⑥女屋 栄一6中 ⑦品川 祐子6中 ⑧早部 光代5中 ⑨鶴川 祐一5中 ⑩設楽 優子4中

**◆納射会** 12月21日 和楽館布施弓道場

和楽館長ご夫婦をはじめ和楽館部員の方に用意していただき弦供養と射会を行いました。本来は和楽館の納射会だったのですが支部の射会として前橋支部員も参加させてもらっています。和楽館のご好意により沢山の賞品を用意してもらい今年は30位まで順位を決め30位から賞品を選びました。和楽館会員の綿貫さん(プロの方)からは花瓶などの焼き物を中町君のお母さんの手作りクッキー詰め合わせ(すごくおいしそうでした)その他沢山です。そして射会の後にイベントでお餅つきやバーベキューなど用意してもらいみんなで楽しい時間を過ごしました。



- ①柴崎 祐一9中 ②設楽 優子6中 ③森 崇宣6中 ④六本木 保6中 ⑤春山 正子6中  
⑥上原 篤彦6中 ⑦宮本 茂5中 ⑧名雪 篤一5中 ⑨勅使川原守5中 ⑩河田 茂康5中

**◆108射会** 12月31日 前橋市民体育館弓道場 参加30名

毎年恒例になった射会。今年も特別に市営道場を開放していただき、NHKのテレビ撮影(毎年、当日お昼のニュースで放送されています。)上毛新聞の取材など忙しい1日を過ごしました。

- ①山崎慎一郎77中②名雪篤一65中③女屋栄一61中④女屋厚子61中⑤高橋ゆかり59中  
⑥下田康弘58中⑦勅使川原守57中⑧関口辰徳56中⑨笠原郁子55中⑩高橋香内51中

**◆初射会** 1月12日 前橋市民体育館弓道場 参加者33名 10射

- ①高橋ゆかり10中②六本木保9中③森崇宣8中④笠原郁子7中⑤高橋香内7中  
⑥中西洋一6中⑦上原篤彦6中⑧品川祐子5中⑨和泉亮5中⑩名雪篤一5中

◆月夜野弓道場と佐京弓道場の親善射会

年もおし迫った、12月13日誠心館佐京道場の忘年会を月夜野町の「峰の湯月夜野館」で行い、翌14日月夜野道場の皆様と親善射会を月夜野後閑先生以下11人、誠心館11人で月夜野の方々の暖かいおもてなしをいただき年末の一日を楽しく弓を引くことが出来ました。

- ①原澤かおる 7中(月夜野) ②赤見晴夫 7中(月夜野) ③佐京武数 6中(佐京) ④尾内武治 6中(佐京) ⑤南雲孝 6中(月夜野) ⑥山本敬信 6中(佐京) ⑦佐々木康芳 6中(佐京) ⑧横手一夫 5中(佐京) ⑨原澤芳雄 5中(月夜野) ⑩牛込信江 5中(佐京) ⑪宮本茂 4中 ⑫後閑縫之介 4中(月夜野)



☆中毛連合会初射会☆

高崎市弓道場

参加者44名 8射

三段以下		
1位	静野 忠雄	5中
2位	奥村 友昭	5中
3位	山口 峰雄	5中
4位	龍 穰	4中
5位	大竹 初代	4中

四・五段		
1位	松井 喜重	7中
2位	星 和夫	5中
3位	宮澤 寿吉	5中
4位	金古 隆栄	5中
5位	高橋 瑛	5中

称号者		
1位	今井 誠一	7中
2位	井川 潤	6中
3位	熊澤 優子	5中
4位	近藤 清宏	5中
5位	谷山 邦明	5中



昇段昇格者



〔東京〕定期中央審査

六段 青柳純江 (桐生)

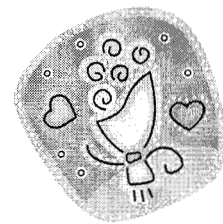
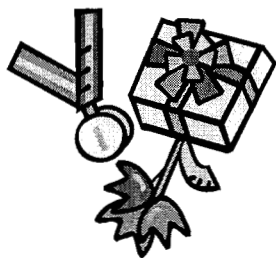
〔東京〕特別臨時審査

錬士 渋沢 明(高崎)・山本絵美(伊勢崎)



大分国体成年男子3位入賞祝勝会 11月24日

当日は43名の参加があり、スポーツセンター食堂において、昼食を頂きながら、選手の皆さんの健闘を称えました。須田会長より、選手の皆さんには表彰状、金一封、記念品が贈られました。



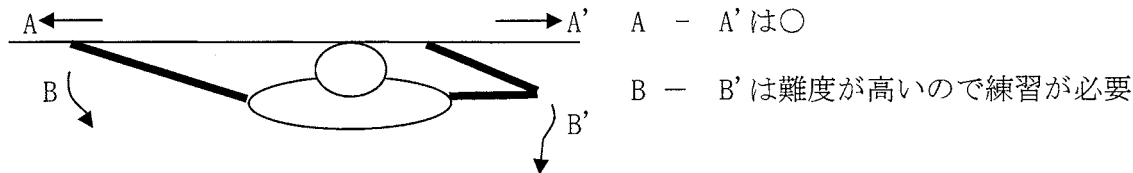
鈴木康弘先生より昨年の関東地域地連幹部講習会 (H. 20. 3. 2) の報告書をいただきました。

## 関東地域地連幹部講習会 岡崎範士・川村範士の講評と講話より

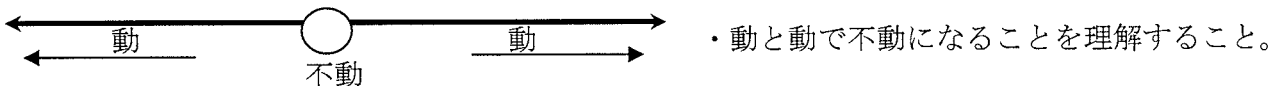
副会長 鈴木 康弘

### 《岡崎範士》

- ・ いじけた弓だ。伸合いなく、手先で離している。
- ・ 一人も八段合格の弓はいない。今の、それぞれの射でなく、他の方策を考えないといけない。
- ・ 的ばかり狙っている。伸合い、気の働かない。・より遠くへ、という伸合いがない。
- ・ 大事なものは離れ。離れていない、不細工に離している。
- ・ 離れが難しいと思うから難しい。離すから離れない。
- ・ 単純に考えること。左右に開くだけで良い。離れは簡単なことで射の中で一番容易である。
- ・ 会で、何もしない。何かするから離してしまう。
- ・ 何故、弓を難しく考えているのか。もっとシンプルに、単純に考えること。
- ・ 技をかけ過ぎ。その技が邪魔になっている。余計なことをしてしくじっている。
- ・ 弓は飛び道具なのだから・・・飛び道具としての原理がある。
- ・ 鉄砲は、出来上がっている道具。弓は道具として組み上がっていない。
- ・ 人間の身体を土台として使っている。身体が土台を担っている。
- ・ 土台は不安定であったり変化してはいけない。安定化することが大事。安定は伸合いから生じる。



- ・ 会で、「こらえている」から問題が出てくる。こらえるのを伸合いと勘違いしている。
- ・ 伸び合ってから、的付けしながらこらえている。こらえているのは伸び合いではない。
- ・ 張力があれば安定する。・伸び合いの継続がないから、次の動作になってしまう。



- ・ 綱引きの綱が、両方で均一の手で引き合えば、中心は不動になる。
- ・ 的付けとともに伸びが止まる。・伸合いの端に、手の内、妻手が付いている。
- ・ 弦枕から弦を外そうとするから・・・離れない。・余計なテクニックはいらない。
- ・ 離れは、「引っ掛かる」ように離す。弦枕に弦が引っかかるように離せば引っかからない。
- ・ 弦溝は浅いよりも、深いほうがスキャンと抜ける。物の考え方を変える。
- ・ 伸びて、伸びて、伸びて、伸びて、ドーンと離せば中る。
  - ・ 心が変われば、態度が変わる。態度が変われば、行動が変わる。
  - ・ 行動が変われば、習慣が変わる。習慣が変われば、人格が変わる。
  - ・ 人格が変われば、運命が変わる。運命が変われば、人生が変わる。という教えがある。変わるためには元の心が変わらなければならない。
- ・ 固定観念が強すぎ、真面目過ぎることがマイナスになっている。
- ・ テクニックに走りすぎて、心のことを論じることがなくなった。
- ・ 昔は精神的な面を強調された。
- ・ 身体は、心に左右される。・心を鍛えないと、土台である身体ができない。心の持ち方が大事。
- ・ どのように引けば楽か？ 飛び道具の原理は？
- ・ 飛ぶ方向に力を働かせること。(理に合った働き)
- ・ 肩甲骨を合わせるのは小離れ射法。飛ぶ方向への働きと違っている。
- ・ こだわらず、左右に伸びる。力は矢の方向にだけ働けばよい。
- ・ 妻手こぶしの飛ぶ方向が矢の筋というのは間違い。



右ひじを動かさず肘を中心とした円運動になる。懸け口は前に飛ぶ。  
 懸け口が前に飛ぶと矢を動かすのではないと言われるが、彗が動くときには  
 矢も弦もそこにはない。

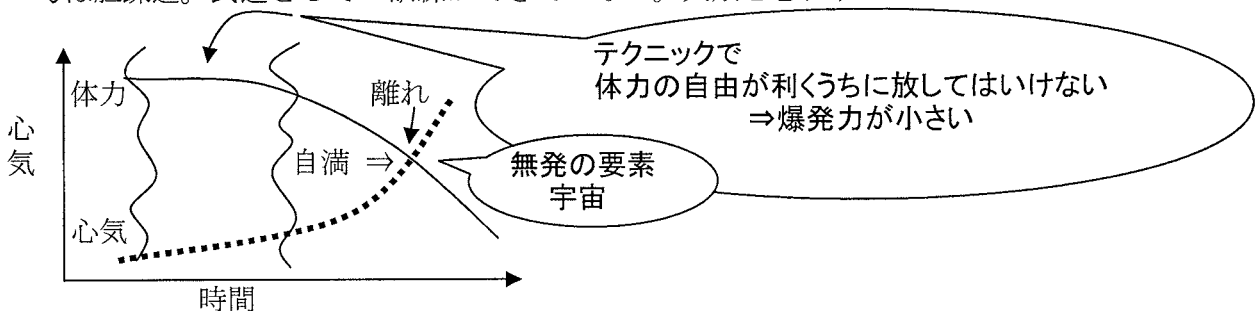
- その勢いと胸の開きで残身になる。
- 小離れは、妻手手首の力を抜き、肩甲骨を合わせて、彗の親指を撥ねて離れた。  
 そこには、妻手を飛ばすエネルギーがないから、小離れになった。  
 この射法で、大離れは無茶なこと。それでは残身を作ってしまう。
- 大離れは、両手首の力を使わず、両肩、胸、両脇下で矢束をとる。
- 会の状態を壊すことで離れる。会で、胸、肩を開けば離れる。手首で引いてはいけない。
- 両肩を開きながら引き分け、会に入る寸前で、さらに両肩を開き、100%で会に入る。
- 100%で入ったら、伸びないのではないと言われるが、  
 弓の圧力を撥ね返し続けるのが、伸合い。
- 止めない、的を狙わない、的付けにこだわらない。
- 正しい会の状態が、正しい狙いになる。的付けにこだわり、一度つけた的付けを動かす  
 というのは、伸び合い以外の力が働いているということ。
- 狙うのではなく、的を映す。矢の着点がばらつくのは、狙いが狂っているのではなく、  
 身体が狂っているから。
- 的付けを見ると、「いまだっ！」という気持ちになるので、的付けはしない。
- 肉眼で的を観るのではなく、心眼で観る。  
 ただし、心眼という言葉は難しいから、体眼という言葉を作った。  
 狙いだけ見ているから妻手が弛む。伸び続けて不動になっていることがすなわち狙い。
- 阿波先生は、「正鵠を狙え」と言っていた。これも、身体で狙っていること。
- 「今だっ！」と思って離すのは、会を作っておき、その会が壊れないうちに離そうとするから。  
 早気になる原因。

引分け	会	離れ	残身
6秒	6秒	6秒	6秒
作業	作業	作業	作業

離れは現象なのだから  
意識するな！

- 引き分け、会、残身は作業。  
 離れは作業ではなく、現象。  
 作業なら「離す」と表現する。

- 弦枕に噛んで弦のエネルギーを減少させてはいけない。これが大離れになる力になる。  
 弦のエネルギーを減少させると、矢の速度も遅くなる。
- 妻手手首を返して離すのは最悪。筑波大学の離れは、手首を返すよりはベター。
- 弦を十文字に懸かっているのだから・・・十文字に斬る感覚。
- 離れで、引っ張り続けずに彗親指が起こされるときに、懸け口が的方向に動き、それから  
 飛ぶというスイッチバックをおこしてはいけない。矢色がでる。
- 大離れを考えれば、諸彗が理想に近い。親指部分が柔らかく、弦を払うように離せる。
- 小離れは親指を弾くようにするので、帽子が固い。
- 彗帽子の中の親指は、力を入れたりして余計なことはしない。帽子は弦に任せる。中の親指は  
 楽にしておく。彗帽子の車のハンドルと同じで、遊びがないと僅かな狂いを緩衝できない。
- 中途半端はいけない。大きな失敗覚悟で、思い切ってやってみる。
- 命を取られる訳ではない・・・思い切りがない
- 残身で力が抜けてはいけない。・・・力が抜けている人が多い。要領が悪い！
- 離れの感覚は、ノブがないドアを歩きながら押し開ける感じ。ノブがあるドアは、立ち  
 止まってノブを回す。離れも立ち止まってはいけない。流れを変えてはいけない。
- 「持満」がないのは、精神的強さが無い。
- 弓は胆錬道。武道としての訓練ができていない。失敗を恐れず！



- ・宇宙を想定すれば体力の苦しさを超えられる。自己からの離脱。
- ・理に適う射が大切、『射法訓』も理に適っている。引き分けの後、「然る後、胸の中筋に従い～」の部分で、会は左右均等に押し引きすることを教えている。
- ・心の問題は難しい。射術にかかわることではなく、一般社会に通じ得るものであれば、弓道を見習えというようになり「公益」の意味がある。
- ・「無技」・・・意識的に技を仕掛けた場合は「技倆」である。
- ・技は必要なときに生まれてくる。技巧とは違う。技巧、技術だけで終われば弓の意味はない。内面の鍛え方が重要。・・・覚悟ができるかどうか。
- ・死を賭けてやる程のものが最上である。＝度胸が据わるか！
- ・現今の弓引きは、大三が悪い。遠い、低い、決まらない、など。
- ・安沢先生の大三是良かった。大三で会を構成していた。大三で、腰を入れて縦線をつくり、足からせり上がるようにする。組む！富士山の如く。その縦線を動かさないように引き分ける。大三でせり上がりながら確認しているので時間がかかる。完成した大三を、そのまま上から下にもってくる。
- ・「雨露利」とは、次から次へと充満する気迫。充満し溢れるから・・・零れる。
- ・「枯れた弓」という言葉は嫌い。「萎びた弓」のことを「枯れた弓」と勘違いしている。萎びた射・・・栄養失調状態のようなもの。
- ・雄々しく生きようとする気迫が表現し得ない姿を「枯れた射」という。豪快な弓が時を経て「枯れた」になる。
- ・審査では、テクニックでなく心を審査員に伝える。審査員の手汗を握らせ、うまくいってカタルシス（感情の激発とその後の軽快感・高揚感）を与えることで、好評価を得る。
- ・第三者に有無を言わせぬ姿を表す覚悟が必要。殻を破ってほしい。
- ・「技」について語るのは、その人自身がその重要性を感じ苦悩する姿こそが、探求者たる旨。
- ・いろいろ話したが、自分でも足りない、できないと苦しんでいるから話している。
- ・全弓連の公益法人化について。弓道を通して心・理についての中身が社会に貢献できるかすなわち範たり得るか。現実が違う。

#### 《川村範士》

- ・弓道の修行は、昭和40年に高校入学し、弓道部に入部したときに始まった。
- ・町道場で、弦音と同時に的中音がして羽まで安土に刺さる人がいた。迫力のある弓でこのような人に、なりたいたいと思った。その人は鈴木三成先生だった。卒業後の指導は、看取り稽古のみで教えられた覚えはない。しかし、稽古で弓を壊すと次の弓をくれた。
- ・その後、佐々木龍蔵先生（北大出身：阿波研三先生の直系の弟子。S.60没）に指導を受けた。「離すな！」「失敗したら恥だと思え」「中てれば紙に穴を明けておもしろいか？パチンコ弓」などと言われながら「言われたことは守ろう」と修行した。褒められたことはない。「本当の狙い・・・無限の彼方の一点を狙え。」「川村を捨てろっ！。全部、捨てろっ！」技術については言わないが「会の一秒は崑崙（コンロン）を支ふる一劫（ごう）を思はせる。」と言われた。伸び合いに徹しろ。「離したっ！」と怒られた。教えられたことは、「弱いものに合わせるな、弱いものを強いものに合わせるよう更に強く働かせろ」ということ。「本当の狙い・・・無限の彼方の一点を狙え。」妥協を許さない。気遣い染みていた。「物の真相は我執の塵を払拭し去って、心裏まことに虚しき時にのみ把握される。魂の飛躍は、さかしき智慧のはからいを捨てて、一心帰命の捨私にてしたときのみ実現される。」
- ・吉田能安先生にも二度教わった。矢勢の速さ、強く働かせることを強調された。そしてバランスをとるな。常に「切羽詰った」状態で弓を引け。「なにくそ！」「ギリギリのところ」妥協は許されなかった。
- ・今の自分たちは、先人達の流れを脈々と受け継いでいる。・・・墮落する方向ではなく飛躍する方向にもっていく責任があり、全身全霊で後輩に伝えなければならない。
- ・自分だけうまくなろうと思うのは間違い。自分が出来なかったら、超える者を作り上げる義務がある。
- ・伝達者とは魂を受け継ぎ、本気でやっていくしかない。
- ・地域にある伝統を守り、より正しい方向に向かわせる義務があることを意識して、みんなで手を携えて「本気で」「命懸けで」やっていく。